

2023年 9月 7日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：ひなたぼっこ美都

施設種類：グループホーム

会議開催日時：2023年 8月 26日

開催場所：グループホームひなたぼっこ美都

出席者：

(人数)

利用者	17人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	1人
地域住民の代表	3人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			13人

*消防署員、アルソック立ち合いの元火災避難訓練実施、立ち合い、見学頂く

・消防署員～訓練途中救急搬送要請の為、出動された。

・アルソックからの所感

◎避難する時は入居者を火元より遠く避けることが大切。

◎消火器がどこにあるかを把握しておく。初期消火に4～5本必要になる。

◎消火器の使用時は周りが粉で真っ白になり、自分の位置が分からなくなる。

退路の確保をしておく。

◎火事は「火種、燃える物、酸素」が揃うと出火し燃え広がる。出火元の部屋の戸口はしっかり閉め、延焼を防ぐ。

◎火事を発見したら大声でまわりに知らせる。

・入居者の皆様の様子・感想

◎「本当の火事でなくてよかった」と話される。

◎訓練であることを理解できない。

◎ベランダへの出入り口でつまづかれた。(ヒヤリハット報告)

◎警報器が鳴るも、それに気づかれない方がほとんどだった。

・ 職員の反省・感想

◎前回の訓練の反省を踏まえて、今回もう一度させて頂いた。前回よりもスムーズに動けたと思う。ベストな避難誘導ができるように努めたい。

◎車椅子の数が限られている。使う順番を考えて、対応していきたい。

◎談話室に居たが、警報器が鳴っても聞こえるような大きな声で夜勤者同士が情報共有しており、良かったと思う。

・ 出席者の皆様からのご意見・ご感想

◎前回の訓練の指摘を生かした避難訓練となっていた。避難場所を施設の裏側にしたのは良かったが、外への段差が気になった。足元が分からない夜間だとなおの事不安である。

◎2階からの避難時、夜間ベランダ側の階段を使用できるだろうか。日中でも不安である。

◎1階外通路足元にエアコン室外機が置いてあり、避難の障害になると予想される。

◎防犯の為に施設周囲がフェンスで囲まれているが、いざと言う時すぐに避難できるように門扉を考えてはどうだろうか。

◎外フェンスの出入り口のチェーンロックについて～外の為に、ダイヤルが回りにくく、おそらく夜間なら、数字をどこに合わせるか分かりにくいと思う。日頃から手入れが必要と思う。

◎前回の訓練の指摘をふまえ「廊下になるべく出ないで、避難誘導をする」というのは分かった。夜間、真っ暗になることを想定した時、安全な避難について考慮が必要と思う。

◎施設のハード面についてはすぐにはできないこと。時間をかけてできるところから対応していけたらいいと思う。

～様々なご意見、ありがとうございました。

今回の避難訓練は前回の訓練で、消防署の方々から指摘を受けた内容について見直しを行いました。

まずは「火元の方に避難しない」その為に「廊下になるべく出ずに避難する」という目標で避難誘導経路を職員の皆さんで検討し、今回実施しました。外への段差については今後検討していきたいと思います。

「離設のリスク」と「非常時の避難」。どこで折り合いをつけるか、皆様のご意見を確認しながら、今後の訓練に生かしていきたいと思います。